

「遊技機及びその関連技術」の技術概要

以下に技術概要を記載する。

1.パチンコ

パチンコ遊技機には独自の機構もしくは遊技方法、規則、演出等が数多く存在する。

パチンコ機で用いられる技術としては、大当たりの仕組みや遊技機の種別など、パチンコ機独自のパチンコルール、出力手段や演出、役物などの表示器関連、筐体や枠、基板、音響などの筐体関連の3つに大別した形で説明を行っている。

まず、技術の前段階として、パチンコ台の部品配置や構造等の把握を容易にするために全体構造を紹介する。パチンコ台を構成する部品は、主に遊技機面やハンドル、ガラスなどのプレイヤー側から見て表面部に露出している部品と、大当たり抽選や演出などを制御する基板群、電源や払出装置などのプレイヤー側からは見ることが出来ない裏側に配置されている部品に大別され、これらの配置位置や名称等の説明を行なう。

(図 1) パチンコの表部品と裏部品の配置図

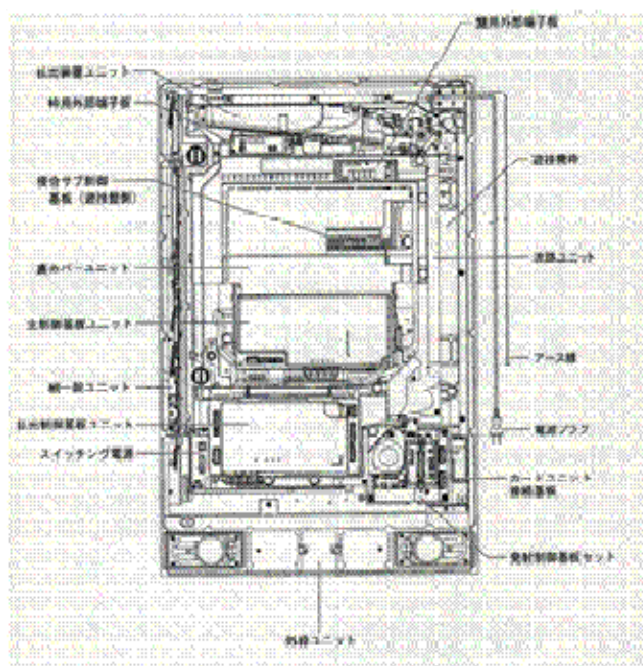
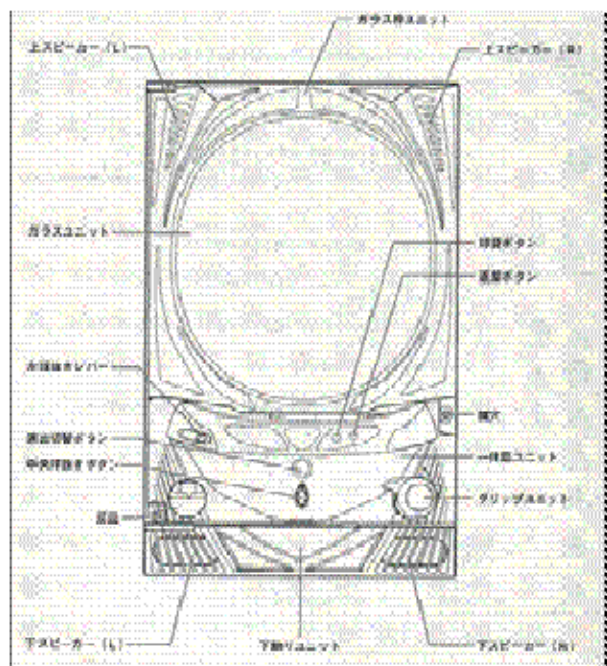


表 1 では、パチンコルールとして、パチンコ遊技における一般的な手順、大当たりの種類と発生条件、抽選方法、種別など、パチンコ機に関わる特定のルールや規則を示す。

パチンコ遊技の基本は、ハンドルを握って盤面上へ遊技球を弾き、特定箇所への入球によって、抽選もしくは払い出しを受けるシンプルな遊技フローとなるが、大当たり抽選や出玉の獲得プロセスによっていくつかの種別に分けられている。現在では種別が撤廃され、表 1 でのいずれの区分にも属さない種別撤廃機も多数登場しているが、いずれの機種も基となるゲーム性はこれらの区分に拠るものが大半である。

遊技ルールについては、「風営適正化法」の「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」に基づき、抽選確率や出玉に関する射幸性の枠組みがなされ、その範囲内において様々な工夫が施されている。

抽選方法については、公平性を保つ、もしくは不正遊技を抑止するために様々な進化を遂げている。主基板（メイン基板）における抽選に関しては、係数方式から乱数方式へ、さらにはハード乱数とより高度な技術を用いて抽選が行われている。一方、特定箇所への入球を大当たり条件とする機種では、役物の周期をランダムにすることで不正遊技の効果を抑制する、もしくは振動や磁石センサーを取り付けることで不正を行いにくくするなどの対策も採られている。

（表 1）

大分類	中分類	小分類	分類番号	技術分類
パチンコルール	遊技手順	遊技フロー	2-1-1-1	遊技フロー
		内部フロー	2-1-2-1	抽選・当選判定
			2-1-2-2	演出（抽選結果表示）
	遊技ルール	基本ルール	2-2-1-1	抽選に関するルール
			2-2-1-2	賞球・出玉・打ち出し回数に関するルール
			2-2-1-3	設定に関する事項
			2-2-2-1	特賞
		役の種類	2-2-2-2	確率変動
			2-2-2-3	時短
			2-2-2-4	特賞開始・終了条件
		種類	2-2-3-1	CR 機
			2-2-3-2	現金機
		種別	2-2-4-1	デジパチタイプ（旧第 1 種）
			2-2-4-2	ハネモノタイプ（旧第 2 種）
			2-2-4-3	権利モノタイプ（旧第 3 種）
			2-2-4-4	電役タイプ（旧電役）
			2-2-4-5	普通機タイプ（旧普通機）
			2-2-4-6	融合（複合）タイプ
			2-2-4-7	アレパチタイプ
	制御機能	演出の制御	2-3-1-1	演出の制御
	抽選機能	係数生成によるもの	2-4-1-1	係数方式
		乱数生成によるもの	2-4-2-1	乱数方式
			2-4-2-2	二段階判定
		特定箇所への入球によるもの	2-4-3-1	役物振り分け
	その他のルール	複合抽選	2-4-4-1	デジタル + 役物
		その他のルール	2-5-1-1	継続条件
			2-5-1-2	権利消化

表 2 では大当たりの抽選結果を表示する際に用いられる全般的な技術となる表示器関連を示す。

表示器関連に含まれる種々の要素は、現在のパチンコ台の人気の最も直結する内容でもあり、表示器の種類、表示内容、告知演出機能、装飾・遊技補助の 4 つのパートに区分される。

表示器に関しては、表示器を搭載したパチンコが出始めたのは、デジパチと称されるジャンルの登場以降（1980 年～）となり、それ以前はチューリップなどの役物や入賞口が盤面上に配置されているのみの機種が主流であった。

しかしながら、デジパチと称されるジャンルの登場以降、大当たりの抽選結果を表示する内容やプロセスが重要視され、当たりハズレの結果以外の部分での付加価値を楽しむ、いわゆる演出見たさで遊技すると言ったパチンコ遊技のスタイルが定着していき、それに伴い 7 セグやドット、液晶などの様々な表示器を搭載した機種が登場している。

2007 年現在では液晶表示を採用する機種が全体の約 9 割近くを占めていると言われているが、これは表示器が大当たりの抽選結果を表示するだけの役割から、大当たりするまでのプロセスを演出として見せると言う役割に変化し、他の表示器と比較しても液晶表示が有する表現力と自由度の高さが他の表示器よりも優位であったためである。

表示内容については、2007 年現在のパチンコでは抽選結果を図柄合わせとして表示するのが主流となっているが、図柄のデザインや配列、有効ラインなどは非常にバリエーションが多彩で、パチンコ独自の技術も少なからず存在する。また、CG や実写、ムービー演出などを用いることで、モチーフの再現性を高めるだけでなく、水中での図柄変動を表現するために水槽を搭載したり、クレイアニメを用いたりするなど、液晶表示の中でも他機種との差別化を図るために、表現内容に対する様々な工夫が施されている機種も登場している。

表示器の進化と共に、劇的に変化した技術が告知・演出機能である。演出の美麗さやインパクト、画面内における探究的要素などが多様な表現技術によって盛り込まれ、さらにアニメーションや芸能人などのタイアップ機種の登場により、従来の勝ち負けを重視するファンだけでなく、演出見たさによる遊技を行なうファンを生み出したのは、告知・演出機能の進化がもたらした一つの結果であり、演出を魅せることによる技術革新は、娯楽機ならではの特性と言える。

さらには、独自の入力装置を活用した演出が多数盛り込み、パチンコにおける遊技スタイルが受動型から能動型にシフトしつつある点も看過できない要素である。反面、玉の動きを楽しむ、入球過程を注視するといったパチンコ本来の楽しみ方ができる機種は減少し、2007 年現在ではアナログ的な演出からデジタル的な演出、さらにはプレイヤー参加型の演出への転換期を迎えていると言っても過言ではないだろう。

(表 2)

大分類	中分類	小分類	分類番号	技術分類
表示器関連	出力手段	液晶	3-1-1-1	液晶の種類
			3-1-1-2	形状
			3-1-1-3	枚数・配置
		ドット	3-1-2-1	ドットの種類
			3-1-2-2	形状
			3-1-2-3	個数・配置
		ドラム	3-1-3-1	ドラムの種類
			3-1-3-2	ドラムの形状・配置
			3-1-3-3	動力
		7セグLED	3-1-4-1	7セグLEDの種類
			3-1-4-2	その他の7セグLED
			3-1-4-3	個数・配置
		飾り付け（役物）	3-1-5-1	固定式
			3-1-5-2	可動式
		その他の表示器	3-1-6-1	その他の表示器
	表示内容	複合表示	3-1-7-1	複合表示
		図柄	3-2-1-1	図柄の種類
			3-2-1-2	図柄配列
			3-2-1-3	図柄デザイン
			3-2-1-4	有効ライン
			3-2-1-5	変動方法（変動パターン）
		保留表示	3-2-2-1	保留表示
		特殊表示	3-2-3-1	映像
			3-2-3-2	プレイヤーの顔写真
			3-2-3-3	水（水樽）
	告知・演出機能	全般的な説明	3-3-1-1	予告演出
			3-3-1-2	リーチ演出
			3-3-1-3	リーチフロー
			3-3-1-4	ステージ・モード演出
			3-3-1-5	ミッション演出
			3-3-1-6	再抽選演出（確率変動昇格演出）
		予告演出	3-3-2-1	停止図柄によるもの
			3-3-2-2	変動態様によるもの
			3-3-2-3	文字表示によるもの
			3-3-2-4	キャラクター出現によるもの
			3-3-2-5	画面変化によるもの
			3-3-2-6	連続発生によるもの
		リーチ演出	3-3-2-7	プレイヤー参加型
			3-3-3-1	変動態様によるもの
			3-3-3-2	キャラクターによるもの
			3-3-3-3	画面分割・リーチライン増加によるもの
			3-3-3-4	プレイヤー参加型
		ステージ・モード演出	3-3-4-1	内部状態を告知
			3-3-4-2	内部状態非告知
		再抽選演出（確率変動昇格演出）	3-3-5-1	再抽選演出
		その他	3-3-6-1	音によるもの
			3-3-6-2	ランプによるもの
			3-3-6-3	役物によるもの
			3-3-6-4	スキップ演出
			3-3-6-5	特定条件下のみ発生
	装飾・遊技補助	入賞口	3-4-1-1	賞球があるもの
			3-4-1-2	賞球がないもの
		大入賞口	3-4-2-1	アタッカー
			3-4-2-2	羽根
		その他役物	3-4-3-1	回転体
			3-4-3-2	クルーン
			3-4-3-3	チューリップ
			3-4-3-4	連動装置
			3-4-3-5	普通電動役物
			3-4-3-6	権利発生用入賞装置
			3-4-3-7	Vゾーンへの誘導役物
			3-4-3-8	可動物
			3-4-3-9	貯留役物
			3-4-3-10	ワープルート
			3-4-3-11	ステージ

表 3 では筐体全般の機構関連を示す。筐体関連は盤面の構成部品、パチンコ台の枠、大当たりの抽選や演出等を制御する音響・基板などの 3 つのパートに区分される。

盤面を構成する部品自体は、強度や精度、素材等の改良は見られるものの、旧来からの変化は少なく、素材も含め一定の水準で作られている。

枠関連については、プレイヤーの利便性向上を図るためにハンドルや皿など、プレイヤーが操作する部分の技術も進歩しているが、この中でも特に入力装置の進歩は特筆に値する。入力装置は未だパチンコの遊技スタイルとしては定着しきれていない未成熟な部分での装置と言えるが、今後は演出に対する付加価値を高める機能として、さらにその存在価値を高める可能性を秘めた装置と言えるだろう。

基板・音響・その他の項目で説明している技術のうち、基板と不正防止装置に関しては、機能の目的上、及び不正防止の観点から技術の方向性と目的、さらに概略と現状を説明するに留めている。音響に関しては、サブ基板（音源基板）と高性能スピーカーの搭載によって幅広い演出が可能となり、さらには使用音源も FM 音源から PCM 音源へと発展を遂げ、オーディオ機器と同程度の音響効果が見込める機種も登場している。

(表 3)

大分類	中分類	小分類	分類番号	技術分類
筐体関連	機構関連	分離筐体	4-1-1-1	分離筐体
	盤面関連	セル盤	4-2-1-1	セル盤
		レール	4-2-2-1	レール
		釘・風車	4-2-3-1	釘・風車
		構造物	4-2-4-1	可動式
			4-2-4-2	非可動
	枠関連	枠・皿	4-3-1-1	枠・皿
		ガラス等	4-3-2-1	ガラス
		ハンドル	4-3-3-1	発射方式
			4-3-3-2	飛距離調整方式
			4-3-3-3	タッチセンサ
			4-3-3-4	付加機能
			4-3-3-5	玉送り装置
		ウエイトボタン	4-3-4-1	ウエイトボタン
		プレイヤー参加型機能	4-3-5-1	入力装置
		玉抜きレバー	4-3-6-1	玉抜きレバー・ボタン
		玉処理機能	4-3-7-1	払い出し
		ランプ	4-3-8-1	ランプ
		その他付属品	4-3-9-1	灰皿・煙草置き場
	基板・音響・その他	音響	4-4-1-1	スピーカー
			4-4-1-2	音源
		不正防止装置	4-4-2-1	センサー
			4-4-2-2	ベニヤ防犯
		基板	4-4-3-1	メイン基板
			4-4-3-2	サブ基板
			4-4-3-3	基板間通信・外部出力手段
		錠	4-4-4-1	錠

2.パチスロ

パチスロ遊技機はアメリカの「スロットマシン」を原型とし、オリンピックマシン、アップライト型と進化を続け、現在の箱型と呼ばれる形態に進化した。そのため、パチンコ機とは異なり、パチスロ機のルーツは異国が発祥と言え、パチンコ機にはない独自の機構、遊技方法、規則、演出等も数多く存在する。

表1では、まず、パチスロ機の主な構造や遊技手順等の把握を容易にするための説明として主な構造の概要と遊技ルールを紹介、さらに内部構造として、ボーナス等を含めた当選役の種類や、抽選の方法、リールの制御方法などを紹介する。

なお、ルールに関しては「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（以下 風営適正化法）」の第20条第3項で定められているように、「国家公安委員会規則6」にて定める「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」を基準に定義されているものを中心に行なう。

この他にも、パチスロ機には遊技機メーカーが参画する協会等でも、前述の法律を基に独自の規則を作成している場合もある。独自の規制に含まれる内容としては、役の種類・ボーナスタイプ、パチスロ特有となるリール制御、プレイヤー側に訴求する上で重要となるサポート機能などの4つ（いずれも小分類）が主に挙げられる。

なお、技術分類は1992年から2004年6月までの前規則（4号機）に則した形式となっているため、現行規則（5号機）には含まれない技術内容も多いが、現在は旧規則（4号機）から現行規則（5号機）に対応する機種への移行期にあたるため、敢えてこのような形式を採っている。

（表1）

大分類	中分類	小分類	分類番号	技術分類
遊技内容	遊技手順	遊技フロー	1-1-1-1	遊技フロー
		内部フロー	1-1-2-1	抽選・当選判定
			1-1-2-2	演出
	遊技ルール	基本ルール	1-2-1-1	ベット・クレジットに関するルール
			1-2-1-2	スタートに関するルール
			1-2-1-3	抽選に関するルール
			1-2-1-4	リールに関するルール
			1-2-1-5	設定
		役の種類	1-2-2-1	小役
			1-2-2-2	レギュラーボーナス
			1-2-2-3	ビッグボーナス
			1-2-2-4	集約(シングル、小役)
		ボーナスタイプ	1-2-3-1	Aタイプ
			1-2-3-2	Bタイプ
			1-2-3-3	Cタイプ
			1-2-3-4	ACタイプ
			1-2-3-5	その他
	リール制御機能	リールの制御の種類	1-3-1-1	テーブル制御
			1-3-1-2	コントロール制御
		リール制御を用いる特殊機能	1-3-2-1	リフレイハズシ
			1-3-2-2	チャレンジタイム(CT)
			1-3-2-3	ストックタイム(ST)
	抽選機能	乱数生成によるもの	1-4-1-1	完全確率抽選
			1-4-1-2	周期抽選
			1-4-1-3	複合抽選
		特定条件によるもの	1-4-2-1	カウンター(差枚数カウンター)
			1-4-2-2	ゲーム数消化
		設定	1-4-3-1	出玉率の設定
			1-4-3-2	初期設定
	その他の機能	ウェイト	1-5-1-1	ウェイトに関する機能
		フラグに関するもの	1-5-2-1	フラグの持ち越し
		サポート機能	1-5-3-1	アシストタイム(AT)
			1-5-3-2	リフレイタイム(RT)

表 2 ではパチスロ機の当否判定に係わるリール演出や、液晶やドットによる付加的演出などの技術である表示器関連を示す。パチスロ機の表示器としては、リールがボーナスや小役といった払い出しに係わるメインの表示器となる。リール以外の表示器としては、液晶やドットなどのパチンコ機で用いられている表示器が挙げられるが、リール以外の表示器が本格的に搭載されるようになったのは 1999 年以降となっており、現在でもリール以外の表示器を搭載していないパチスロ機も多い。また、パチンコ機と比較すれば、表示器のサイズも小さめで、表示内容や機能、種類はパチンコ機のほうが一日の長がある。

また、パチスロ機がパチンコ機と比較して、表示器の面での多様性に欠ける一つの理由としては、パチスロ機における表示器とは、内部抽選の結果を報知するに留まらず、払い出しに直接的に係わるためであり、「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」上に一定の規則が存在することが挙げられる。従って、パチスロ機においては、メイン表示器はリールであることが前提となっており、リール以外の表示器は、内部抽選の当選役の報知などの補助的に用いられるからでもある。

しかしながら、今後はパチンコ機同様、表示器の機能向上とプレイヤーの嗜好の変化に伴い、ゲーム色を強めた傾向を反映して、液晶等での表示機能が演出の中心となるような機種がパチスロ機の一つのジャンルとして定着する可能性も高いと言えるだろう。

(表 2)

大分類	中分類	小分類	分類番号	技術分類
表示器関連	出力手段	リール	2-1-1-1	リールの種類
		ドット	2-1-2-1	ドットの種類(個数)
			2-1-2-2	ドットの形状
			2-1-2-3	配置
		液晶	2-1-3-1	液晶の種類(枚数)
			2-1-3-2	液晶の形状
			2-1-3-3	配置
		7セグデジタル	2-1-4-1	個数
			2-1-4-2	配置
		その他の表示器	2-1-5-1	役物によるもの
			2-1-5-2	ランプによるもの
		複合表示	2-1-6-1	複合表示の種類
	表示内容	図柄	2-2-1-1	図柄の種類
			2-2-1-2	図柄配列
	演出内容	リールの有効ライン	2-2-2-1	標準ライン数と変則タイプ
		予告演出	2-3-1-1	全般的な説明
			2-3-1-2	出目によるもの(チャンス目)
			2-3-1-3	連続発生するもの
			2-3-1-4	期待度を上昇させるもの(追加演出)
		確定演出	2-3-2-1	全般的な説明
			2-3-2-2	出目によるもの
			2-3-2-3	変動態様によるもの
			2-3-2-4	ナビゲーションによるもの
			2-3-2-5	告知演出
		チャンス演出	2-3-3-1	ステージ演出
			2-3-3-2	変動態様によるもの
			2-3-3-3	モード演出
			2-3-3-4	その他
		その他	2-3-4-1	擬似リール演出
			2-3-4-2	役物によるもの
			2-3-4-3	プレイヤー参加型

表 3 ではパチスロ機の筐体や基板、音響などの技術が含まれる筐体関連を示す。大別すると、入力と出力に係わる機構関連と、音響、基板などの基板・音響その他の 3 つに区分される。

機構関連に関しては、オリンピアマシンと称される機種の特徴とも言えるアップライト型から一般的な箱型、ゲーム機のようなベガスロ機まで、幅広いタイプが存在する。また入力機器から投入口、ホッパーに至るまで、メーカーごとに趣向を凝らした技術や機能が搭載されている。その反面、各遊技機メーカーによる統一性が図られていないだけでなく、同一メーカーによっても機種によっては異なる機能を搭載しているため、まさに機能は千差万別と言えるだろう。実際、現在でも筐体部分に関しては、新しい機能を搭載した機種のリリースが絶えず行われているのが現状である。

基板・音響その他に関しては、前規則に充当する 4 号機時代に抽選に係わるメイン基板と、演出に係わるサブ基板とが別途搭載された以外は 1 号機（1985～1988 年）時代と比べても、大きな変化は見られていない。ただし、不正防止装置に関しては、新たな不正が発生するたびに、その対策技術は日々進化している。

（表 3）

大分類	中分類	小分類	分類番号	技術分類
筐体関連	機構関連	箱型	3-1-1-1	筐体の種類
		入力	3-1-2-1	入力機器
			3-1-2-2	投入口
			3-1-2-3	クレジット
		出力	3-1-3-1	ホッパー
			3-1-3-2	受け皿
		遊技者の補助	3-1-4-1	目押し補助機能
			3-1-4-2	演出キャンセル
			3-1-4-3	BGMの変更など
		補給	3-1-5-1	コインタンク
		その他付属品	3-1-6-1	遊技者への補助設備
	基板・音響その他	音響	3-2-1-1	スピーカー
		内部機構	3-2-2-1	リールの駆動方式
		不正防止装置	3-2-3-1	侵入防止
			3-2-3-2	体感器防止
			3-2-3-3	警告音
			3-2-3-4	その他
		外部出力手段	3-2-4-1	ホールコンピューターへの出力、出力内容
		基盤	3-2-5-1	メイン基板
			3-2-5-2	サブ基板

3.周辺設備

パチンコホールにおいては、営業を補助するための様々な設備が設置されている。それら設備機器は遊技客の利便性に基づいて発展した設備、営業上の作業を簡略化するための設備、営業管理を容易にするための設備などに分類され、近年、急速かつ複合的に発展を遂げている。

遊技客の利便性に基づいた設備には、会員システム、情報表示システムなどが挙げられる。会員システムでは、遊技客はパチンコホールの会員に登録する事によって、そのホールのイベント情報などが入手できるとともに、獲得した玉（メダル）を預けておく貯玉・再プレイシステムを利用することなども可能である。会員システムは営業管理にも密接に関係しており、会員登録した遊技客が会員システムを使用する事によって、自店顧客の会員管理が可能となる。情報開示システムでは、遊技客が特定の遊技台の遊技履歴を閲覧する事が可能となる。

営業上の作業を簡略化する設備には、玉（メダル）貸機、補給・回収・研磨システム、紙幣搬送システムなどが挙げられる。玉（メダル）貸機では、従業員が玉（メダル）を手動で貸出していた作業を簡略化している。補給・回収・研磨システムでは、遊技機への玉（メダル）補給・回収、回収した玉（メダル）の研磨の作業を簡略化している。紙幣搬送システムでは遊技客が使用した紙幣を島端などで一括回収する事で、紙幣の回収作業を簡略化している。

営業管理を容易にするための設備には、ホールコンピューター、景品 POS システム、異常検知システム、監視システムなどが挙げられる。ホールコンピューターでは、各遊技機の遊技履歴などを管理し、営業情報の管理を容易にしている。景品 POS システムも同様に、景品の使用情報などの管理を容易にする。異常検知システム、監視システムでは、目視で行なっていた不正の監視を機械化する事によって、監視の精度を向上させている。

上記した各システムは表 1 の様に分類され、各々細分化される。

（表 1）

大分類	中分類	小分類
プリペイドシステム	プリペイドシステム	プリペイドシステムの概要
		中継装置
		ターミナルボックス
		ユニットストッカー
		精算機
	非現金媒体の種類	磁気媒体
玉貸機	CRユニット	IC媒体
		携帯電話用電子マネー
		各台CRユニット
		表示機及び操作部
		携帯電話用電子マネー対応CRユニット
		ニコイチCRユニット
メダル貸機	現金玉貸機	現金玉貸機の概要
	メダル貸機	メダル貸機の概要
	CSメダル貸機	CSメダル貸機の概要

大分類	中分類	小分類
島関連システム	玉補給・回収・研磨（洗浄）システム	島概要と玉補給・回収・研磨（洗浄）システム
		島
		補給シュート
		補給カウンター
		パルスボックス
		研磨（洗浄）リフト
	メダル補給・回収・研磨（洗浄）システム	メダル搬送
		研磨（洗浄）機
		リフト
	計数システム	計数システムの概要
		玉計数機
		メダル計数機
		チケット発行機能
	紙幣搬送システム	紙幣搬送システムの概要
		紙幣搬送機構
		紙幣搬送用島金庫
		島リサイクル紙幣両替機
営業管理関連機器	ホールコンピューター	ホールコンピューターの概要
		島ユニット
	景品POSシステム関連	景品POSシステムの概要
		景品POS端末
	会員システム関連	景品払出機
		会員システムの概要
		貯玉・再プレイシステム
	異常検知システム	異常検知システムの概要
		アラームサーバー
		セキュリティーセンサー
	監視システム	画像サーバー
		監視システムの概要
		カメラシステム
		記録システム
情報表示システム	モニター	店内外モニター
	データ表示機	共有データ・台上データ表示機
遊技環境関連	パチンコ玉関連	パチンコ玉
	メダル関連	メダル
	吸殻自動回収システム	吸殻自動回収システムの概要
	台間分煙機器	台間空気清浄機
ホール設備システム相関図	ホール設備システム相関図	ホール設備システム相関図

「調査対象技術の樹形図」～「遊技機の年表」作成上の参考情報

「調査対象技術の樹形図」、「技術対応表」、「調査対象技術の技術概要」、「遊技機の年表」を作成するにあたり、下記の文献及びホームページを参考とした。

参考文献
「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑2001」 成澤浩一編（2001年2月 9日発行）株式会社白夜書房
「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑2002」 成澤浩一編（2002年1月26日発行）株式会社白夜書房
「パチンコ必勝ガイド爆裂年鑑2003」 成澤浩一編（2003年1月27日発行）株式会社白夜書房
「パチンコ必勝ガイドスーパーリーチ年鑑2004」 成澤浩一編（2004年1月29日発行）株式会社白夜書房
「パチンコ必勝ガイドパチンコ年鑑2005」 成澤浩一編（2005年1月25日発行）株式会社白夜書房
「パチンコ必勝ガイドパチンコ年鑑2006」 成澤浩一編（2006年1月22日発行）株式会社白夜書房
「別冊グリーンベルト パチンコ百年史」 山田清一、今泉秀夫編（2002年8月発行）株式会社アド・サークル
「パチスロ大図鑑2001」 吉良誠二編（2001年5月12日発行）株式会社白夜書房

参考ホームページ
http://www.nichidenkyo.or.jp/frame.htm 日本電動式遊技機工業協同組合ホームページ
http://www.toyoukyo.or.jp/nenpyo2.html 東京都遊技業協同組合ホームページ
http://www.nichiyukyo.or.jp/toc/history.html 社団法人日本遊技関連事業協会ホームページ
http://www.yugitsushin.jp/data/ 株式会社遊技通信社ホームページ
http://www.wakonet.co.jp/ パーラーWAKOホームページ
http://slothistory.com/ パチスロ業界初まとめ

その他、第1部～第3部中に出典として挙げた文献及び、メーカー各社のホームページも参考とした。